

教職大学院 NEWS



三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻

第5号 H29.9月発行

新しい発見と豊かな学び、そして、感動！ 尾鷲・熊野での東紀州実習を終えて……

教職大学院の長期実習の1つである、東紀州実習を9月に実施しました。この東紀州実習は、「特色ある取組を進めている東紀州地域の学校教育活動から学ぶ。」ということを目的にしています。実習生にとっては、自分の在籍する学校とは異なる地域や異なる校種での実習となります。本年度は、尾鷲市教育委員会、熊野市教育委員会にお世話になり、学校経営力開発コース（現職教員）の学生10名を受け入れていただきました。お世話になる両教育委員会及び実習校には、「効果的な複式指導、小規模校における学力向上の取組、特色ある地域学習、学校行事、若手教員への支援等」

について学ばせていただきたい旨をお願いしました。7月に、実習生（院生）と指導教員が実習校を訪問し、事前の打ち合わせ等を行いました。その際に、実習校の特色や力を入れている取組等について伺い、実習の内容（具体的な活動）等について相談させていただきました。その後、実習生は「実習計画書」を作成。9月7日には東紀州実習オリエンテーションを実施し、院生一人一人が実習計画の概要及び学びたいことを発表し、実習における留意事項等について確認しました。そして、ついに9月11日（月）から東紀州実習がスタートしました。実習期間中は、特に台風18号の動きが心配されましたが、幸いなことに3連休中に日本列島を通過し、今回の実習には大きな影響が出ませんでした。実習中は、指導教員も実習校を訪問し、実習の様子を見させていただきました。いずれの学校でも、実習に大変ご協力いただき、実習

生にとってとても学びやすい環境を整えていただきました。実習を終えて帰ってきた院生に話を聞くと、「とても充実した実習だった。」「実習校の先生方に大変よくしていただいた。」等の言葉が返ってきました。このように、院生にとって充実した実習とすることができたのも、両教育委員会、各実習校の皆様方のお陰と感謝する次第です。院生は、今後、東紀州実習の報告書をまとめ、12月7日に報告会を行う予定です。今回の実習で学んだことを、今後の学修に活かしていくことと思います。【今回お世話になった実習校】

尾鷲市：矢浜小学校、三木小学校、尾鷲中学校、輪内中学校

熊野市：新鹿小中学校、神上小中学校、五郷小学校



熊野市・獅子岩



尾鷲市

東紀州実習の感想紹介

私は中学校の教員ですが、東紀州の小学校へ9日間の実習に行かせていただきました。この学校は、全学年が複式学級で授業が行われていました。次期学習指導要領で、「主体的・対話的で深い学び」の視点から学習過程の改善とされていますが、この学校では他者との協働をどのように実現できるのかが、一つの課題となっていました。今回の実習を通して強く感じたことは、学校という環境の中だけで子どもを育てるのではなく、地域の力も合わせて町全体が一つの学校として子どもたちを育てているということです。総合的な学習の時間では、稲刈りや芋ほり、茶摘みといった地域の方の協力で成り立つ授業がたくさんあり、これらの授業は地元の新聞でも紹介されていました。また、今回お伺いした時は運動会シーズンでしたが、運動会が保・小・中合同で開催され、子どもたちが小さいころからずっと近所の方々に成長を見守られながら育ってきていることが伝わってきました。このような環境で育った子どもたちからは、強い「競争」意識ではなく、「共生」意識を感じました。そして、この「共生」意識で町全体が覆われているような、そんな感じを受けました。

（学校経営力開発コース・野呂 貢一）

約2週間、熊野市の小中学校で実習をさせていただきました。自分の校種が高等学校なので、異校種、しかも遠方の地域での実習ということで当初は不安を感じていました。初日は大変緊張し、わからないことの連続で「実習終了まできちんとやっていけるのだろうか。」と思っていました。しかし、児童生徒の優しさ、職員の皆様の温かさに緊張もほぐれ、さまざまな体験をさせていただくことができました。運動会のヒップホップダンスの練習、グラウンドのライン引き、運動会準備物作成、絵本の読み聞かせ体験。高等学校での自分の担当部署では、体験できないような業務をさせていただくことができました。児童生徒とは初めは関係づくりにとまどったものの、すぐに打ち解けて仲間入りをさせてもらえました。熊野市の大自然に包まれ、地域一体となって児童生徒を見守る「人と人とのつながり」を大切にされている学校でした。この実習に行けたことは自分の人生の中で一生忘れられない経験となりました。この経験は今後の自分の研究や教育活動に活かしていきたいと思っています。

（学校経営力開発コース・福永 名津）

9月11日（月）～22日（金）、東紀州の小学校にて実習をさせていただきました。教職大学院で行われる第1回目の実習でした。（全3回）今回は学修テーマに関わらず、教育について幅広く考え、それぞれが学びを見つけるといった目的でした。2週間という短い期間でしたが、学校現場の先生方、子どもたち、地域の方からたくさんのことを学び、充実した実習となりました。実習後、院生同士で意見交流をしました。それぞれの学びがあり、本当に良い実習であったと感じました。実習内容は、それぞれの学校の特色や実習生の立ち位置に応じて、授業参観、授業実習、授業案作成、研修会参加、環境整備、校区見学など様々でした。実習校では、低学年を中心に授業参観、授業実習を行いました。小中合同の運動会の取組も参観しました。少人数、複式学級での算数科授業にも取り組みました。すべてが貴重な経験でした。子どもたちとの関わりや学校現場の先生方の話などから、気づいたこと、学んだことをさらに深め、還流していきたいと思っています。

（学校経営力開発コース・世古 浩一）

第3回教職大学院説明会一緒に学びませんか？

会場 三重大学 教職支援センター2Fレチャールム

10/9



参加申込

（月・祝）14:00～16:00

①氏名、②所属、③参加希望日を記入のうえ、下記メールアドレス宛に説明会当日の3日前までにお送りください。お気軽にご参加ください！

info-mkd@edu.mie-u.ac.jp

編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻（教職大学院）広報担当

☎ 059-231-9319（学務担当）

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

URL <http://mkd.edu.mie-u.ac.jp>（教職大学院専用 HP）



info-mkd@edu.mie-u.ac.jp